

科目名	SES100: 基礎ゼミナール		担当教員	平野 幸治, 丹木 博一, 森下 園, 宮崎 幸江, 飯田 純也, 杉村 美佳, 小林 宏子, 岩崎 明子
開講期	春	分類		

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	他者のために、他者とともに生きる、自己を知り、自己を確立する、アカデミックスキルと研究倫理について
2	最初の一歩を踏みだそう—質問の仕方、レポート作成時の注意事項、プレゼンの準備、研究倫理について
3	ゼミ選択と進路選択—卒業までの計画、進路決定のために何をするか
4	編入への道—編入試験の概要、進学のために何をすべきか+プレゼンテーション
5	就職への道—働くとはどういうことか、企業は学生に何を求めているのか+プレゼンテーション
6	女性のキャリアとライフコース—働く女性の状況、あなたのライフプラン+プレゼンテーション
7	キャリア・パスを考える—なぜ進学/就職するのか、理由を説明する+プレゼンテーション
8	将来の夢を実現するためのリサーチ、情報リテラシー—リサーチプランを作成する+プレゼンテーション
9	論点をまとめる—リサーチしたことをグループでシェア、小論文の骨組みをつくる、引用の仕方
10	小論文および学修ポートフォリオの作成

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	世界に目を向け、異文化に心を開く、ポートフォリオで自主的な学修	テキスト3章講読、マララさんのスピーチの動画の内容を400文字で要約
2	学ぶ姿勢を見直そう—大学での学び、ノートの取り方のコツ、スケジュール管理、インターネット・SNS利用上の留意点	テキスト4章講読、動画を視聴してプレゼンテーションのポイントをまとめる
3	文章の paragraph 構造—要約と文章の中心文	テキスト5章-3講読、paragraphライティングの書き方の動画のポイントをまとめる
4	小論文を書く—先行研究や得た情報を踏まえてメイン・paragraphを作成、学修ポートフォリオの書き方	テキスト13章講読、小論文のアウトライン作成

科目名	SES200: ゼミナールI				担当教員	永野 良博	
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4218	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	【Kurt Vonnegut, Slaughterhouse-Five】時間の中の彷徨、時間と死の概念
2	第二次世界大戦、少年期再訪、復讐、死の予告
3	決定論と自由意志、個人の歴史への関わり、宇宙の終末、予定説
4	カルヴィニズム、ナチスへの徹底抗戦、不条理な死、ドレスデン爆撃の記憶
5	【John Barth, The End of the Road】自己喪失、選択不可能状態
6	実存主義、相対主義的世界に関する議論、内在的価値の否定
7	個人が独自の価値観と視点を持ち一貫性を保持すること、愚かさに関する議論
8	研究発表
9	研究発表
10	研究発表

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	飛行機墜落事故と不条理な死、妻への愛、空想科学小説、自己と世界の再創造	教科書及び教員作成資料読解後、論述課題提出、それへの教員のフィードバック
2	主題分析まとめ、論文作成法、大学生の研究倫理	教科書及び教員作成資料読解後、論述課題提出、それへの教員のフィードバック
3	古き自己の放棄、個人の独自性、真正なる個人、姦通と動機の不在	教科書及び教員作成資料読解後、論述課題提出、それへの教員のフィードバック
4	神話療法、原因の探求、行動の結果への責任、個人と主体、主題分析まとめ	教科書及び教員作成資料読解後、論述課題提出、それへの教員のフィードバック

科目名	SES200: ゼミナールI				担当教員	平野 幸治	
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4210	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	イントロダクション:授業の進め方と Kazuo Ishiguro の文学的意義について
2	Kazuo Ishiguro の作品研究『日の名残り』: 語り手の「曖昧さ」の意義と効果
3	Kazuo Ishiguro の作品研究『日の名残り』: 登場人物内面の変化と展開
4	Kazuo Ishiguro の作品研究『日の名残り』: 内面の変化、特に共感について
5	Kazuo Ishiguro の作品研究『私を離さないで』: 語り手の「曖昧さ」の意義と効果
6	Kazuo Ishiguro の作品研究『私を離さないで』: 登場人物内面の変化と展開
7	Kazuo Ishiguro の作品研究『私を離さないで』: 内面の変化、特に和解について
8	Kazuo Ishiguro の作品研究『忘れられた巨人』: 語り手の「曖昧さ」の意義と効果
9	Kazuo Ishiguro の作品研究『忘れられた巨人』: 登場人物内面の変化と展開
10	Kazuo Ishiguro の世界と③レポートの返却と講評

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	Kazuo Ishiguro の作品『日の名残り』の②-1グループ発表と講評→「発表用のパワポをグループで作成」に変更	Dropboxにパワポ format を用意。format を基に準備学修 190 分と 100 分の量の指示を用意。
2	Kazuo Ishiguro の『私を離さないで』の②グループ発表→「発表用のパワポをグループで作成」に変更	Dropboxにパワポ format を用意。format を基に準備学修 190 分と 100 分の量の指示を用意。
3	Kazuo Ishiguro の『忘れられた巨人』の②-2グループ発表と講評→「発表用のパワポをグループで作成」に変更	Dropboxにパワポ format を用意。format を基に準備学修 190 分と 100 分の量の指示を用意。
4	William Shakespeare 『リア王』の発表の準備と研究倫理や plagiarism について→『リア王』の発表原稿の準備」に変更	Moodleに作成の手引きを用意。準備学修 190 分と 100 分の量の原稿の指示及び研究倫理や plagiarism の文章を用意。

科目名	SES200: ゼミナールI				担当教員	近藤 佐智子	
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4208	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	導入 Regional and social dialects
2	Gender
3	Ethnicity and social networks
4	個人研究の進め方：文献の探し方、文献研究論文の書き方、研究倫理教育
5	Language change
6	Style, context and register: addressee, accommodation theory
7	Style, context and register: class, style in non-Western societies, register
8	Speech functions, politeness and cross-cultural communication
9	Gender, politeness and stereotypes
10	Language, cognition and culture

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	Age	教科書 183-193 読み日本語要約と質問を提出、質問へのフィードバックを読む
2	Linguistic politeness in different cultures	教科書 312-321 読み日本語要約と質問を提出、質問へのフィードバックを読む
3	Sexist language	教科書 346-358 読み日本語要約と質問を提出、質問へのフィードバックを読む
4	研究報告（論文の内容と秋学期の実証研究の計画）	作成した論文の内容を踏まえて実証研究計画を立てて提出

科目名	SES200: ゼミナールI				担当教員	丹木 博一	
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4214	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	オリエンテーション・文献検索の方法・テキスト批評の方法
2	ブックレポートの方法・小論文の書き方・研究倫理
3	『自省録』第1・2巻講読・テキスト批評
4	『自省録』第5・6巻講読・テキスト批評
5	『自省録』第9・10巻講読・テキスト批評
6	ブックレポート
7	ブックレポート
8	ブックレポート
9	ブックレポート
10	論文作成のエクササイズ

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	『自省録』第3・4巻講読・テキスト批評	Moodleに掲示する資料を閲覧し、そこに記した課題を行う。
2	『自省録』第7・8巻講読・テキスト批評	Moodleに掲示する資料を閲覧し、そこに記した課題を行う。
3	『自省録』第11・12巻講読・テキスト批評 教科書②についての説明	Moodleに掲示する資料を閲覧し、そこに記した課題を行う。
4	小論文に対するコメント 論文作成のエクササイズ	Moodleに掲示する資料と小論文に対するコメントを閲覧し、そこに記した課題を行う。

科目名	SES200: ゼミナールI				担当教員	森下 園	
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4202	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	ゼミの概要説明、研究倫理についての説明、要約発表の割り当て（追記：本講義はZOOMで行う予定）
2	要約発表①
3	要約発表②
4	要約発表③
5	要約発表④
6	要約発表⑤
7	ゼミ論文のテーマ発表①
8	ゼミ論文のテーマ発表②
9	ゼミ論文のテーマ発表③
10	今学期の振り返りと反省、夏休みの研究計画発表

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	要約発表のレジюме作成の仕方、参考文献の探し方、発表の仕方の注意	Moodle教材を視聴し、要約発表のレジюме作成と発表準備をすすめる
2	ゼミ論文のテーマ設定と構成、参考文献リストと引用註についての説明	Moodle教材を視聴し、ゼミ論文のテーマ設定と発表の準備をすすめる
3	要約発表	ゼミの他の学生の発表を踏まえて、各自の発表レジюмеの修正版を作成する
4	ゼミ論文のテーマ発表	ゼミの他の学生の発表を踏まえて、各自の発表レジюмеの修正版を作成する

科目名	SES200: ゼミナールI				担当教員	宮崎 幸江	
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4217	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	B第3章 海外帰国生 教育問題の変遷と新たな動向
2	B第4章 留学生 日本における外国人留学生と日本からの海外留学
3	B第5章 家族 多様な文化と教育戦略
4	B第7章 地域 見慣れた風景と出会いなおす
5	B第8章 労働市場 それはいかに移民の教育と関係するのか
6	B第9章 トランスナショナルな生活世界 往還する日系ブラジル人の教育経験から
7	B第10章 グローバル社会と教育格差 東アジアにおける教育移住をてがかりに
8	B第11章 移民国家アメリカの多文化教育 多様性の尊重と社会的公正をめざして
9	B第15章 ノンフォーマルな教育と居場所 夜間中学校、NPO、エスニックメディア
10	まとめ

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	A第6章 多文化共生社会の実現にむけて	配布資料とワークシート
2	A第7章 多様化する外国籍の子どもと多文化教育の変容	配布資料とワークシート
3	B第序章 グローバル時代の国際移動と変容する日本社会、第1章 オールドカマー	レポート
4	B第2章 ニューカマー 加速する日本社会の多文化化	レポート

科目名	SES200: ゼミナールI				担当教員	狩野 晶子	
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4203	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	プレゼミ概観・総括 各自が興味のあるテーマを考える
2	各自が興味のあるテーマを調べ、深める 文献の探し方、研究倫理指導
3	プレゼンテーションスキルの具体的指導
4	各自のテーマを深め、調べる
5	各自のテーマ・調べた内容について発表と ディスカッション (1)
6	学生によるプレゼンテーション・ディスカッション (1)
7	学生によるプレゼンテーション・ディスカッション (2)
8	学生によるプレゼンテーション・ディスカッション (3)
9	プレゼンテーションの反省 各自のテーマの方向性の検討
10	ゼミIの総括、各自の研究テーマについて 方向性と内容の確認

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	各自のテーマ・調べた内容について発表と ディスカッション (2)	テーマ・内容を個別にファイル提出。それを事前共有してセッション数減。
2	学生によるプレゼンテーション・ディスカッション (4)	テーマ・スライド事前共有し、Q&Aはチャット等で集約しセッション数減。
3	テキスト発表準備 (1) [夏合宿にて発表予定]	ゼミ夏合宿は今年度は延期し秋以降に実施。テキストは概要提出を課題とする。
4	テキスト発表準備 (2) [夏合宿にて発表予定]	ゼミ夏合宿は今年度は延期し秋以降に実施。テキストは概要提出を課題とする。

科目名	SES200: ゼミナールI				担当教員	飯田 純也	
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4216	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	オリエンテーション 文献研究指導（研究倫理）
2	進化論 ダーウィン『種の起源』(1)
3	進化論 ダーウィン『種の起源』(2)
4	政治哲学 マキャベリ『君主論』(1)
5	政治哲学 マキャベリ『君主論』(2)
6	政治哲学 アーレント『全体主義の起源』(1)
7	政治哲学 アーレント『全体主義の起源』(2)
8	平和論(1) フロイト『人はなぜ戦争をするのか』
9	平和論(2) 中間レポート提出、シャトルカード返却
10	中間レポート講評、学修の振り返り

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	戦争と平和 カント『永遠平和のために』(1)	講義部分は資料配布。課題提出及びフィードバックはオンライン上。
2	戦争と平和 カント『永遠平和のために』(2)	課題提出及びフィードバックはオンライン上。
3	メディア論 リップマン『世論』(1)	講義部分は資料配布。課題提出及びフィードバックはオンライン上。
4	メディア論 リップマン『世論』(2)	課題提出及びフィードバックはオンライン上。

科目名	SES200: ゼミナールI				担当教員	神谷 雅仁	
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4215	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	Course overview 研究倫理について
2	Chapter presentation: 1. The social study of language グループ発表およびディスカッション
3	Chapter presentation: 2. The ethnography of speaking and the structure of conversation グループ発表およびディスカッション
4	Chapter presentation: 3. Locating variation in speech グループ発表およびディスカッション
5	Chapter presentation: 4. Styles, gender, and social class グループ発表およびディスカッション
6	Chapter presentation: 5. Bilinguals and bilingualism グループ発表およびディスカッション
7	Chapter presentation: 6. Societal multilingualism グループ発表およびディスカッション
8	Chapter presentation: 7. Applied sociolinguistics グループ発表およびディスカッション
9	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 1
10	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 2

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 3	自己研究に関わる課題
2	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 4	自己研究に関わる課題
3	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 5	自己研究に関わる課題
4	自己研究テーマに関する個人発表およびディスカッション Group 6	自己研究に関わる課題

科目名	SES200: ゼミナールI				担当教員	杉村 美佳	
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4220	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	ヨーロッパとアジアにおける開発教育および研究倫理
2	持続可能な開発目標 (SDGs) の課題
3	日本と世界の貧困問題
4	環境問題と開発教育
5	多文化共生社会の実現に向けて
6	子どもの権利条約
7	ジェンダーと開発
8	ゼミ論文構想発表(1)、 <i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読
9	ゼミ論文構想発表(2)、 <i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読
10	ゼミ論文構想発表(3)、 <i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	開発教育の内容・方法・カリキュラム	テキスト第2章の要約・考察・リサーチ
2	開発教育ワークショップ	テキスト第1章の要約・考察・リサーチ
3	地域からの開発教育	テキスト第12章の要約・考察・リサーチ
4	ゼミ論文構想発表(4)、 <i>Women's Education in Developing Countries</i> の講読	リサーチペーパーの作成

科目名	SES200: ゼミナールI				担当教員	小林 宏子	
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4204	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	オリエンテーション、研究倫理イエス・キリストの人間観
2	神の母聖マリアご訪問のマリア
3	サマリアの女
4	マルタとマリア
5	カナンの女
6	ベタニアのマリア
7	死刑囚の母
8	マグダラのマリア
9	学生発表 (1)
10	学生発表 (2)

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	シモン・ペトロの姑出血症の女	テキスト pp.15～28 の講読と Youtube 動画「自分を深く知るために(4)」を視聴して課題に答える
2	姦通罪を犯した女罪の女と仕える女たち	テキスト pp.38～55 の講読と Youtube 動画「自分を深く知るために(5)」を視聴して課題に答える
3	貧しいやもめ 女預言者アンナ	テキスト pp.82～102 の講読と Youtube 動画「自分を深く知るために(6)」を視聴して課題に答える
4	学生発表 (3)	個人研究の発表後に校正を加えた ppt の完成版を Moodle に提出する。

【評価方法：変更あり・評価基準：変更なし】

評価方法	①テキスト及び指定された聖書箇所講読のための事前課題の提出 (21%) ②意見交換の時の司会 (18%) と話し合いへの積極的参加及びリアクションペーパー (21%) ③ブックレポート (25%) と口頭発表 (15%)
評価基準	①課題として指示されたテキストの内容を的確に理解した上で、授業での話し合いに備えて自分の見解を、論理的に記述できること。②司会を担当する時には、話し合いのためのレジユメを作成し、主題に添った発展的質問を準備した上で話し合いをリードすること。また、質問されたことに答えられること。司会者以外の学生は話し合いが活発に進むよう積極的に発言して意見交換に貢献し、授業内容を反映させたリアクションペーパーを書くこと。③各自の研究テーマに沿った参考書の内容を的確に要約し、自分の見解を論理的に記述した上で、分かりやすく口頭発表できること。

科目名	SES200: ゼミナールI				担当教員	Thomas
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4211	オフィスアワー P.19 を参照のこと

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	Introduction to the course, class policies, learning materials, and research ethics
2	Nonviolence: Nonviolent resistance (Mahatma Gandhi)
3	Nonviolence: Daring to dream (Martin Luther King, Jr.)
4	Nonviolence: Living deliberately (Henry David Thoreau)
5	Living peace: Living peace (Mother Theresa)
6	Living peace: Being peace (Thich Nhat Hanh)
7	Research presentation by students
8	Research presentation by students
9	Research presentation by students
10	Conclusion, Submission of research paper

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	Living peace: "Us" refers to all of humankind (Oscar Arias)	Write lesson summary and answer discussion questions; watch PowerPoint presentation (ppp) for pair work using Zoom and other instructions
2	Honoring diversity: Interfaith Harmony (Bruno Hussar)	Write lesson summary and answer discussion questions; watch ppp for pair work using Zoom and other instructions
3	Honoring diversity: Universal compassion (The Dalai Lama)	Write lesson summary and answer discussion questions; watch ppp for pair work using Zoom and other instructions
4	Valuing all life: Realizing our humanity (Jane Goodall)	Write lesson summary and answer discussion questions; watch ppp for pair work using Zoom and other instructions

科目名	SES200: ゼミナールI				担当教員	岩崎 明子	
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4213	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	ガイダンス、リサーチとゼミ論文構想 研究倫理について、担当分け
2	Ut.1 地球温暖化の問題 Good by, Maldives, TR (1) プリント
3	Ut.3 経済格差: Economic Inequality: the Glowing Gap / Ut.6 水問題: We Can't Live Without Water
4	Ut.2 新たな共同体づくりへのチャレンジ Sustainable Communities / Ut.7 世界遺産の保護: Protecting World Heritage プリント
5	Ut.4 エコツーリズムの挑戦 Dilemmas for a Responsible Tourism / Ut.8 健康と食べ物: The War on Sugar プリント
6	Ut.5 生物多様性から学ぶもの Learning from Nature プリント / Ut.9 エネルギー問題: Energy for a Stable Climate プリント
7	ゼミ論文構想発表 (1) Ut.10 熱帯雨林保護 と人権: Yasuni: A Dream of the Future
8	ゼミ論文構想発表 (2) Ut.11 大農園の生産物: No More Bananas?
9	ゼミ論文構想発表 (3) Ut.14 非暴力抗議と 市民的不服従: When It is Right to Break the Law
10	ゼミ論文構想発表 (4) ブックレポート提出

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	Ut.6 水問題: We Can't Live Without Water プリント 発	3回目に他のテーマと一緒にを行う
2	Ut.7 世界遺産の保護: Protecting World Heritage プリント	4回目に他のテーマと一緒にを行う
3	Ut.8 健康と食べ物: The War on Sugar プリント	5回目に他のテーマと一緒にを行う
4	Ut.9 エネルギー問題: Energy for a Stable Climate プリント	6回目に他のテーマと一緒にを行う

\*1日の授業で発表を2回するような形式を4日間とすることで内容をカバーする。さらに内容を補填するために設問付きの配布予定資料を Moodle で配布し、その答えを調べ回答用紙に記入し、Moodle に返送する。別途解答例を示す。

【評価方法・評価基準: 変更あり】

評価方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教科書発表とレジメ作成: 30%</li> <li>2. 討論への参加: 10%</li> <li>3. リアクションペーパーとオンデマンド課題: 30%</li> <li>4. ゼミ論構想の発表: 20%</li> <li>5. Book report: 10%</li> </ol>
------	---

評価基準

1. 教科書発表、レジメ提出：30%
2. 討論への参加 10%
3. リアペ 20%、オンデマンド課題 10%（該当する章に関する映像を視聴し 800 字から 1000 字の概略と意見の小論文にまとめる）
4. ゼミ論文の構想発表 20%（アウトライン、参考文献一覧提出）
5. Book Report 10% ゼミ論のための関連書籍（または研究論文）2 冊を選び要約と考察をレポートする。

科目名	SES200: ゼミナールI				担当教員	M.Lupas	
開講期	春	開講時限	水4限	研究室	4206	オフィスアワー	P.19を参照のこと

【授業を実施】

授業計画	
回	テーマおよび学習内容
1	Course introduction. Research Ethics Education.
2	Sei Shōnagon
3	Murasaki Shikibu
4	Virginia Woolf
5	Helen Keller
6	Mother Teresa
7	Preparing group presentations
8	Preparing group presentations
9	Group presentations
10	Group presentations

【授業を実施しない】

授業計画		
回	テーマおよび学習内容	学習内容を補う方法
1	How to find secondary sources for world literature	I will distribute documents for the students to read on this theme and provide individualized help for preparing presentations.
2	Preparing group presentations	This preparation time will be combined with days 7 and 8.
3	Group presentations	This presentation time will be combined with days 9 and 10
4	Reviewing students learning goals and coursework during the past semester	I will set up a time to meet online with students around days 9 and 10. Alternatively, students can send me their documents and questions by e-mail.

【評価方法・評価基準：変更あり】

評価方法	Participation 10%, Reaction paper 30%, Project 30%, Presentation 30%
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>Participation:</b> active participation in activities</li> <li>・ <b>Reflection papers:</b> 6 reactions x 5 points each, submitted in Moodle forum. They should demonstrate understanding of the class content.</li> <li>・ <b>Project:</b> written report evaluated on (1) clear research question, (2) answers the research question using evidence or quotations from the primary text, (3) clear background information on the primary text, (4) references for all sources used</li> <li>・ <b>Presentation:</b> follows <i>English Essentials</i> guidelines for presentations</li> </ul>